

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年10月5日

【四半期会計期間】 第20期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 株式会社 シード

【英訳名】 SEED CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡 橋 成 泰

【本店の所在の場所】 京都市山科区榊辻中在家町8番地1

【電話番号】 (075) 595-1311(代)

【事務連絡者氏名】 管理部グループ長 七 海 不 二 男

【最寄りの連絡場所】 京都市山科区榊辻中在家町8番地1

【電話番号】 (075) 595-1311(代)

【事務連絡者氏名】 管理部グループ長 七 海 不 二 男

【縦覧に供する場所】 株式会社 大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年8月10日に提出いたしました第20期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に記載漏れがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(2) 財政状態の分析

<省略>

(新設)

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

<省略>

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

<省略>

(6) 経営者の問題認識と今後の方針について

<省略>

(訂正後)

(2) 財政状態の分析

<省略>

(3) 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

当社グループは、シンジケートローン契約の参加金融機関に対しまして、第18期を基準年度として中期利益計画（第19期～第21期）の説明を行っております。

なお、参加金融機関との協議におきましては賛同を得ており、直ちに「期限の利益の喪失」の請求により当該シンジケートローンを一括返済しなければならない可能性が低いものと考えております。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

<省略>

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

<省略>

(7) 経営者の問題認識と今後の方針について

<省略>